

旧車ノート

カワサキ旧車の整備記録と部品資料

記録 No.004 / 資料

旧車のバッテリー充電 ― 電流の選び方、液面、危ないサイン

充電器の「0.8A・2A・6A・10A」「STD・AGM」は何を選べばいいのか。開放型バッテリーの液面、充電後に見る電圧、そして「こうなったら止める」サイン。

2026-09-08

なぜ先にバッテリーなのか

GPZ400のキャブを切り分ける前に、バッテリーを満充電にした。理由は単純で、バッテリーが弱いとアイドリング中の火花が弱くなり、濃い側の症状（プラグの黒さ・温まると止まる）を増幅するからだ。油面が原因という見立ては変わらないが、電気が足りない状態で切り分けると結果がぶれる。

GPZ400のバッテリーと充電の数字

項目	値	備考
標準バッテリー	YB12A-AK (GS ユアサ)	開放型（液入り・補水式）。12V 12Ah（10時間率）。「K」はセンサー付きの意味で、中身は YB12A-Aと同じ
標準充電電流	1.2A	容量の1/10。メーカー指定
充電器のモード	STD	開放型用。AGM／ISS／DEEP／Li-ionは別種類のバッテリー用
充電器の電流	0.8A か 2A	6A・10A は車用。バイクには使わない
満充電後の電圧 （30分以上放置して）	12.6V 以上	12.4Vを切ると要注意、12.0V以下は交換を考える
走行中の電圧（充電系の確認）	13.5～14.5V	5,000rpm付近で測る。13V以下 = 充電していない、15V以上 = レギュレーター異常
液面	UPPER と LOWER の線の間	減っていたら精製水を足す

充電時間の目安（12Ah・残量70%から）

電流	時間	
0.8A	4～6時間	おすすめ
2A	2～3時間	急ぐとき

充電器は満充電を検知して自動で止まる（維持充電に移る）ので、つなぎっぱなしでいい。時間はあくまで目安で、古いバッテリーほど長くなる。

01 | 充電器の設定 ― 何を選べばいいか

自分が使っているのは **BAL No.2734**（12V専用・最大10A）。バッテリーの種類と電流を選ぶ方式で、ここで迷う人が多いので整理しておく。

バッテリーの種類（モード）

表示	意味	GPZ400は
STD	開放型（液入り・キャップを開けて補水するタイプ）	これ
ISS	アイドリングストップ車用（車）	使わない
AGM	密閉型（MF）。液を吸わせたガラスマットが入っている	MFバッテリーに載せ替えていればこれ
DEEP	ディープサイクル（キャンピングカー・船）	使わない
Li-ion	リチウムイオン	鉛バッテリーには絶対に使わない

見分け方。上面にキャップが6個並んでいて、横に **UPPER**／**LOWER** の線があれば開放型＝STD。キャップがなく、上面が平らで「MF」「密閉」と書いてあれば AGM。

電流

バッテリーの容量（Ah）の**1/10**が標準充電電流。12Ahなら1.2A。充電器にぴったりの段がないときは、低いほうを選ぶ。

電流	
0.8A	いちばん安全。時間はかかる。バッテリーを傷めない
2A	12Ahなら短時間なら許容範囲。急ぐときに
6A・10A	40Ah以上の車用。バイクのバッテリーに流すと発熱して液が沸く

順番（火花を出さないために）

開放型バッテリーは充電中に水素ガスを出す。火花が飛べば引火する。だから「つなぐ順番」が決まっている。

1. 充電器の電源はまだ入れない
2. 赤クリップを +端子 につなぐ
3. 黒クリップを -端子 につなぐ
4. それから充電器の電源を入れる
5. 終わったら、充電器の電源を切ってからクリップを外す（黒 → 赤 の順）

△ 電源を入れたままクリップをつけ外しすると、その瞬間に火花が飛ぶ。ガスが溜まっていればそこで引火する。

02 | 充電中に見ておくこと（開放型）

液面

キャップの横、ケースの側面に **UPPER LEVEL** と **LOWER LEVEL** の線がある。6セル全部が、この線の間に入っているか見る。

- 減っていたら精製水を足す。バッテリー液（希硫酸）は足さない — 減ったのは水だけで、硫酸は残っているから

- **UPPER**を超えて入れない。充電で膨らんで溢れる
- **1セルだけ極端に減っている**なら、そのセルが壊れかけている

キャップ

充電中はガスが出る。キャップを外すか、ゆるめておく。換気のいい場所で。密閉した箱の中で充電しない。

触ってみる

充電中にバッテリーの側面を触って、**熱いと感じたら止める**。ぬるい程度は正常。手を当てていられないほど熱いのは、電流が大きすぎるか、バッテリーが内部で壊れている。

印刷用



旧車のバッテリー充電 (PDF)

A4・5ページ / 1.7MB

掲載内容は筆者個人の作業記録です。整備は自己責任で行ってください。

価格・品番は掲載時点のもので、変動する場合があります。

本サイトはカワサキ（川崎重工業株式会社）とは一切関係のない個人サイトです。

© 2026 ツナグ
/ TSUNAGU